

次期中間処理施設整備事業の用地選定に関する意見書

平成25年10月29日提出

印西地区環境整備事業組合および構成市役所・町役場の役職員の皆さまには、日頃、市町民のために廃棄物処理行政にご尽力いただき、大変ありがたく思っております。

また、貴委員会では、委員長はじめ委員の方々に、設備を更新しなければならない期限が迫る中、短期間で精力的・活発に議論を行っていただき、ありがたく思っております。

現在、貴委員会において検討されている「候補地の比較評価項目・基準・配点（案）」・「候補地の募集要項（案）」等について、以下、意見を述べさせていただきます。

1. 「候補地の比較評価項目・基準・配点（案）」について

- ・現在検討されている比較評価項目等については、極力、客観的な視点から基準（評価項目の設定と評価の考え方・定義）を検討されている点は有意義だと思いますが、2次審査、3次審査においては、全体を100点満点としたうえで、各評価項目に配点（＝重みづけ）している点には留意が必要だろうと思えます。
- ・前回の委員会（平成21年6月～平成23年3月の間に検討した「次期中間処理施設整備検討委員会」）における評価においては、78点満点中、74点と73点を取得した候補地間の優劣・差異が明確ではなく、混乱を招いたことを踏まえておく必要があるかと思えます^(注)。

(注) もちろん定量的な評点の差異が直接的・最大の問題だったわけではありませんし、評価自体が恣意的であったとの指摘（例えば「余熱利用」に高い配点が与えられた結果、特定の候補地に評価が高くなり恣意的である〔地域冷暖房及びプール等の余熱利用先がある場所＝現在地周辺が高評価〕との批判）や、経済性の議論がなく説明責任を果たせるだけの理屈がないとの指摘（500メートル離れた高額の土地を取得し、施設を移転・整備する理屈が何もないことに対する住民の反発）等があったわけで、そうした指摘を踏まえ、今回の検討委員会では、極力客観的な立場から、経済性等を幅広く評価して候補地を選定する考え方を整理している点は大変意義があると思っております。

- ・100点満点中何点を取得したかに積極的な意義を見出すことは難しく、また、候補地間での評点の優劣・差異を合理的に説明することも難しいと思えますし、あまり本質的ではないと思えます（例えば、概算事業費に40点、地域防災拠点の効果に5点をそれぞれ配点すること（違いを設けること）について、大小関係は理解できたとしても、40：5の8倍の違いを設定することを合理的に説明することはできないでしょうし、そのこと自体に積極的な意味はないように思います）。むしろ、定量的な評点が住民をミスリードしないか気になります。

- ・したがって、例えば、評点形式の評価をやめて、各評価項目の重要性を大・中・小等に区分しつつ、評価を◎・○・△・×といったように視覚的に表現することも考えられるのではないのでしょうか。あるいは、定量評価が必要であるとしても、5点と40点といった8倍の配点の違い（＝ウェイト付けの違い）に関する合理的な説明が難しい中、最終的には候補地を総合的に比較考量して評価する旨（必ずしも単なる評点の大小が候補地としての優劣を表さない旨）を記載しておいた方がよいかと思えます。

2. 「候補地の募集要項（案）」

(1) 選考プロセスの明確化（貴委員会の役割・責務の明確化）

- ・募集要項には、今後の選考プロセスをより明確に記述しておく必要があるかと思えます。
- ・応募のあった候補地や関係市町の推薦地の選考プロセスとして、1次審査、2次審査、3次審査、答申、建設予定地決定といった段階が示されておりますが、貴委員会では、候補地の募集を行い、応募された候補地について、1次審査、2次審査、3次審査を行ったうえで、複数の候補地を管理者に答申することが想定されていると思えます。
- ・しかし、建設予定地は、周辺住民の理解を得たうえで、正副管理者や組合議会での判断（予算承認等）を踏まえて最終的に決定されると考えられ、そうした建設予定地決定までの選考主体（貴委員会か、正副管理者か、組合議会か）を明確化しておく必要があるかと思えます。さらに言えば、正副管理者や組合議会の判断によっては、貴委員会が管理者に答申した候補地以外の場所を建設予定地として決定される可能性があるのだとすれば、そうした点を明確化しておくべきだろうと思えます。

(2) 評価会合の公開・非公開の明確化

- ・応募のあった候補地について、2次審査後に、周辺住民の説明会が想定され、周辺住民の理解度を踏まえて3次審査の評価を行うとしておりますので、少なくとも2次審査後には、その周辺住民は候補地として検討が行われていることを知ることになりますが、貴委員会での候補地の評価に関する会合を公開で行うのか、非公開で行うのか（例えば、議事録は公開し、評価会合自体は非公開とする等）を明確にしておいた方がよいかと思えます。

いずれにしても建設予定地に関しては、周辺住民の理解が得られるよう適時・適切な情報提供や説明が必要になろうかと思えます。引き続き、地域住民にとって必要不可欠な中間処理施設の整備に向けたご検討をよろしくお願いいたします。

以上